



## 2024年6月期 決算短信〔日本基準〕（非連結）

2024年8月8日

上場会社名 株式会社ユーザーローカル 上場取引所 東  
コード番号 3984 URL https://www.userlocal.jp/  
代表者 (役職名) 代表取締役 社長 (氏名) 伊藤 将雄  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO 管理部長 (氏名) 岩本 大輔 TEL 050(3204)2167  
定時株主総会開催予定日 2024年9月20日 配当支払開始予定日 2024年9月24日  
有価証券報告書提出予定日 2024年9月20日  
決算補足説明資料作成の有無：有  
決算説明会開催の有無：有 (機関投資家・アナリスト向け、個人投資家向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年6月期の業績 (2023年7月1日～2024年6月30日)

#### (1) 経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年6月期	3,907	18.8	1,728	25.9	1,720	26.7	1,185	24.2
2023年6月期	3,288	22.5	1,372	34.0	1,357	33.3	954	32.2

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年6月期	73.94	73.57	16.9	21.4	44.2
2023年6月期	59.80	59.21	16.1	20.2	41.7

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年6月期	8,835	7,724	87.4	477.91
2023年6月期	7,211	6,340	87.9	396.97

(参考) 自己資本 2024年6月期 7,724百万円 2023年6月期 6,340百万円

#### (3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年6月期	1,545	△198	△36	7,676
2023年6月期	1,313	△28	△238	6,366

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産 配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2023年6月期	—	0.00	—	4.00	4.00	63	6.7	1.1
2024年6月期	—	0.00	—	8.00	8.00	129	10.8	1.8
2025年6月期 (予想)	—	0.00	—	11.00	11.00		14.0	

### 3. 2025年6月期の業績予想 (2024年7月1日～2025年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,414	13.0	1,844	6.7	1,844	7.2	1,272	7.3	78.72

(注) 当社は年次での業務管理を行っておりますので、第2四半期(累計)の業績予想の記載を省略しております。詳細は、添付資料P.3「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：有
- ④ 修正再表示：無

(2) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年6月期	16,205,800株	2023年6月期	16,115,600株
② 期末自己株式数	2024年6月期	42,070株	2023年6月期	144,125株
③ 期中平均株式数	2024年6月期	16,033,442株	2023年6月期	15,960,121株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

（決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手について）

当社は、2024年8月8日（木）に機関投資家・アナリスト向けの決算説明会をオンラインにて開催する予定です。

この説明会の資料は、TDnetで決算短信と同日に開示するとともに、当社ウェブサイトに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	2
(4) 今後の見通し .....	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	3
3. 財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 貸借対照表 .....	4
(2) 損益計算書 .....	6
(3) 株主資本等変動計算書 .....	7
(4) キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(5) 財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(持分法損益等) .....	9
(会計上の見積りの変更) .....	9
(セグメント情報等の注記) .....	9
(1株当たり情報) .....	10
(重要な後発事象) .....	10

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

#### 当期の経営成績

当事業年度におけるわが国経済は、物価の高騰や、緊迫するウクライナ及び中東情勢の影響を受け、国内外において依然として先行きは不透明な状況にあります。その一方で、AIが社会に与える影響への関心の世界的な高まりや、業務効率化等のための「デジタルトランスフォーメーション (DX)」の推進が引き続き社会的に強く意識されています。これに伴い、当社の提供するビッグデータ・AIを活用したクラウドサービスへのニーズも高まっているものと認識しております。

このような状況のもと、当社は「ビッグデータ×人工知能で世界を進化させる」という経営理念を掲げ、SaaS形式で提供するマーケティング支援サービス「User Insight」、「Social Insight」、AIを活用した顧客サポート業務の自動化サービス「Support Chatbot」の品質向上及び販売促進に注力してまいりました。

研究開発活動においては、主に①自社AIアルゴリズム拡充、②既存サービスへのAIアルゴリズム実装、③AIサービスの新規開発に重点的に取り組んでまいりました。特にAIサービスの新規開発では、ChatGPTなど対話型AI・生成AIとのサービス連携や、ビッグデータ分析やAIの技術を用いてあらゆる課題を解決するための商品開発を積極的に進めてまいりました。安定的な基幹システムの構築やAIエンジニア、データサイエンティストの育成にも引き続き注力し、サービス品質のさらなる向上を図っております。

また、営業活動においては、サービスの販売を行う人員を増員するとともに、営業管理体制やカスタマーサクセス体制の強化を行うことにより、事業拡大に向けた新規取引先の開拓等の販売促進活動に努めてまいりました。

以上の取り組みの結果、当事業年度の経営成績は、売上高3,907,679千円（前期比18.8%増）、営業利益1,728,000千円（前期比25.9%増）、経常利益1,720,151千円（前期比26.7%増）、当期純利益1,185,536千円（前期比24.2%増）となりました。

なお、当社はデータクラウド事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

### (2) 当期の財政状態の概況

#### 資産、負債及び純資産の状況

##### (資産)

当事業年度末の資産につきましては、前事業年度末に比べて1,623,447千円増加し、8,835,192千円となりました。これは主に、現金及び預金の増加(前事業年度末比1,309,724千円の増加)、差入保証金の増加(前事業年度末比166,950千円の増加)によるものであります。

##### (負債)

当事業年度末の負債につきましては、前事業年度末に比べて238,830千円増加し、1,110,342千円となりました。これは主に、未払法人税等の増加(前事業年度末比184,054千円の増加)、前受金の増加(前事業年度末比53,865千円の増加)によるものであります。

##### (純資産)

当事業年度末の純資産につきましては、前事業年度末に比べて1,384,617千円増加し、7,724,850千円となりました。これは主に、利益剰余金の増加(前事業年度末比1,121,650千円の増加)、自己株式の減少(前事業年度末比141,861千円の減少)によるものであります。

### (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度末における現金及び現金同等物の残高は、前事業年度末と比較し1,309,724千円増加し、7,676,580千円となりました。当事業年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは1,545,204千円の収入（前年同期は1,313,447千円の収入）となりました。これは主に、税引前当期純利益1,720,151千円の計上、株式報酬費用152,266千円の計上、法人税等の支払いによる支出382,470千円によるものであります。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは198,800千円の支出（前年同期は28,034千円の支出）となりました。これは主に、差入保証金の差入による支出177,312千円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、36,679千円の支出（前年同期は238,220千円の支出）となりました。これは、新株予約権の行使による株式の発行による収入27,076千円、配当金の支払額63,755千円によるものであります。

(4) 今後の見通し

2025年6月期につきましては、前事業年度にリリースしました新製品の機能追加・品質向上、及び販売促進のための投資の強化に加えて、新規製品開発や新市場開拓等の先行投資を積極的に実施していく予定であります。また、採用強化、生産性向上等を目的とした本社移転に伴い地代家賃の増加、移転関連費用が発生することを予定しております。このため、2025年6月期の業績見通しは、売上高4,414百万円（前期比13.0%増）、営業利益1,844百万円（前期比6.7%増）、経常利益1,844百万円（前期比7.2%増）、当期純利益1,272百万円（前期比7.3%増）を見込んでおります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は日本基準で財務諸表を作成する方針であります。

なお、今後につきましては、株主構成及び国内の同業他社の動向等を踏まえ、国際会計基準の適用について検討を進めていく方針であります。

## 3. 財務諸表及び主な注記

## (1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年6月30日)	当事業年度 (2024年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,366,856	7,676,580
売掛金	205,585	251,762
前払費用	208,914	218,753
その他	30,983	64,793
貸倒引当金	△2,098	△1,772
流動資産合計	6,810,242	8,210,117
固定資産		
有形固定資産		
建物附属設備	22,518	22,518
減価償却累計額	△9,296	△15,233
建物附属設備 (純額)	13,221	7,285
工具、器具及び備品	223,767	223,888
減価償却累計額	△186,670	△191,005
工具、器具及び備品 (純額)	37,096	32,882
有形固定資産合計	50,318	40,168
投資その他の資産		
投資有価証券	0	0
差入保証金	72,346	239,297
保険積立金	54,193	58,829
長期前払費用	115,933	148,335
繰延税金資産	108,711	138,444
投資その他の資産合計	351,184	584,906
固定資産合計	401,502	625,075
資産合計	7,211,745	8,835,192

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年6月30日)	当事業年度 (2024年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
未払金	124,757	137,212
未払法人税等	215,664	399,718
前受金	379,407	433,273
預り金	45,692	29,688
未払消費税等	84,095	89,530
その他	21,895	20,919
流動負債合計	871,512	1,110,342
負債合計	871,512	1,110,342
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,198,588	1,212,126
資本剰余金		
資本準備金	1,183,588	1,197,126
その他資本剰余金	94,852	188,880
資本剰余金合計	1,278,440	1,386,007
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	4,057,406	5,179,057
利益剰余金合計	4,057,406	5,179,057
自己株式	△194,202	△52,340
株主資本合計	6,340,233	7,724,850
純資産合計	6,340,233	7,724,850
負債純資産合計	7,211,745	8,835,192

## (2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2022年7月1日 至 2023年6月30日)	当事業年度 (自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)
売上高	3,288,826	3,907,679
売上原価	236,668	339,063
売上総利益	3,052,158	3,568,615
販売費及び一般管理費	1,679,791	1,840,614
営業利益	1,372,366	1,728,000
営業外収益		
受取利息	102	214
その他	—	1
営業外収益合計	102	216
営業外費用		
株式報酬費用	13,546	7,994
自己株式取得費用	1,294	—
その他	43	70
営業外費用合計	14,884	8,065
経常利益	1,357,584	1,720,151
特別損失		
投資有価証券評価損	100,450	—
固定資産除却損	—	0
特別損失合計	100,450	0
税引前当期純利益	1,257,133	1,720,151
法人税、住民税及び事業税	350,289	564,347
法人税等調整額	△47,508	△29,733
法人税等合計	302,781	534,614
当期純利益	954,352	1,185,536

## 売上原価明細書

区分	注記 番号	前事業年度 (自 2022年7月1日 至 2023年6月30日)		当事業年度 (自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)	
		金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)
I 労務費		115,282	48.7	138,131	40.7
II 経費	※	121,385	51.3	200,931	59.3
当期売上原価		236,668	100.0	339,063	100.0

(原価計算の方法)

当社の原価計算は、個別原価計算であります。

(注) ※主な内訳は次のとおりであります。

項目	前事業年度 (自 2022年7月1日 至 2023年6月30日)	当事業年度 (自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)
減価償却費 (千円)	20,122	21,065
賃借料 (千円)	25,988	28,944



## (3) 株主資本等変動計算書

前事業年度 (自 2022年7月1日 至 2023年6月30日)

(単位: 千円)

	株主資本								純資産合計
	資本金	資本剰余金			利益剰余金		自己株式	株主資本合計	
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計			
当期首残高	1,185,243	1,170,243	71,118	1,241,362	3,151,050	3,151,050	△39,177	5,538,479	5,538,479
当期変動額									
新株の発行	13,344	13,344		13,344				26,689	26,689
剰余金の配当					△47,996	△47,996		△47,996	△47,996
当期純利益					954,352	954,352		954,352	954,352
自己株式の取得							△215,756	△215,756	△215,756
自己株式の処分			23,734	23,734			60,730	84,465	84,465
当期変動額合計	13,344	13,344	23,734	37,078	906,355	906,355	△155,025	801,753	801,753
当期末残高	1,198,588	1,183,588	94,852	1,278,440	4,057,406	4,057,406	△194,202	6,340,233	6,340,233

当事業年度 (自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)

(単位: 千円)

	株主資本								純資産合計
	資本金	資本剰余金			利益剰余金		自己株式	株主資本合計	
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計			
当期首残高	1,198,588	1,183,588	94,852	1,278,440	4,057,406	4,057,406	△194,202	6,340,233	6,340,233
当期変動額									
新株の発行	13,538	13,538		13,538				27,076	27,076
剰余金の配当					△63,885	△63,885		△63,885	△63,885
当期純利益					1,185,536	1,185,536		1,185,536	1,185,536
自己株式の処分			94,027	94,027			141,861	235,889	235,889
当期変動額合計	13,538	13,538	94,027	107,566	1,121,650	1,121,650	141,861	1,384,617	1,384,617
当期末残高	1,212,126	1,197,126	188,880	1,386,007	5,179,057	5,179,057	△52,340	7,724,850	7,724,850

(4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2022年7月1日 至 2023年6月30日)	当事業年度 (自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前当期純利益	1,257,133	1,720,151
減価償却費	24,656	27,002
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	143	△326
受取利息	△102	△214
株式報酬費用	177,655	152,266
投資有価証券評価損益 (△は益)	100,450	—
固定資産除却損	0	0
売上債権の増減額 (△は増加)	△33,365	△46,176
前受金の増減額 (△は減少)	71,495	53,865
未払金の増減額 (△は減少)	20,711	12,454
未払消費税等の増減額 (△は減少)	29,138	5,364
その他	15,313	3,073
小計	1,663,230	1,927,460
利息の受取額	102	214
法人税等の支払額	△349,885	△382,470
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,313,447	1,545,204
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△23,397	△16,851
保険積立金の積立による支出	△4,636	△4,636
差入保証金の差入による支出	—	△177,312
投資活動によるキャッシュ・フロー	△28,034	△198,800
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
新株予約権の行使による株式の発行による収入	26,689	27,076
自己株式の取得による支出	△217,050	—
配当金の支払額	△47,858	△63,755
財務活動によるキャッシュ・フロー	△238,220	△36,679
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,047,193	1,309,724
現金及び現金同等物の期首残高	5,319,663	6,366,856
現金及び現金同等物の期末残高	6,366,856	7,676,580

(5) 財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(持分法損益等)

当社は関連会社を有していないため、該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

(耐用年数及び資産除去債務の見積りの変更)

当事業年度において、本社の移転及びその予定時期を決定いたしました。これにより、一部の固定資産について、耐用年数の見積りを将来にわたり変更しております。また、本社の原状回復費用について、新たな情報の入手に伴い、償却期間及び金額の見積りの変更を行いました。

なお、当社では、資産除去債務について、負債計上及びこれに対応する除去費用の資産計上に代えて、当該敷金の回収が最終的に見込めないと認められる金額を合理的に見積り、そのうち当事業年度の負担に属する金額を費用に計上する簡便的な方法によっております。

これにより、従来の方と比べて、当事業年度の営業利益、経常利益及び税引前当期純利益がそれぞれ5,806千円減少しております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

前事業年度(自 2022年7月1日 至 2023年6月30日)

当社は、データクラウド事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

当事業年度(自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)

当社は、データクラウド事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

【関連情報】

前事業年度(自 2022年7月1日 至 2023年6月30日)

1. 製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービスの区分の外部顧客への売上高が損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、特定の顧客への売上高が10%に満たないため、主要な顧客ごとの情報の記載を省略しております。

当事業年度(自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)

1. 製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービスの区分の外部顧客への売上高が損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、記載を省略しております。

## 3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、特定の顧客への売上高が10%に満たないため、主要な顧客ごとの情報の記載を省略しております。

## 【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

該当事項はありません。

## 【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

該当事項はありません。

## 【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

## (1株当たり情報)

	前事業年度 (自 2022年7月1日 至 2023年6月30日)	当事業年度 (自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)
1株当たり純資産額	396.97円	477.91円
1株当たり当期純利益	59.80円	73.94円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	59.21円	73.57円

(注) 「1株当たり当期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり当期純利益」の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度 (自 2022年7月1日 至 2023年6月30日)	当事業年度 (自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)
1株当たり当期純利益		
当期純利益(千円)	954,352	1,185,536
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る当期純利益(千円)	954,352	1,185,536
普通株式の期中平均株式数(株)	15,960,121	16,033,442
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
当期純利益調整額(千円)	—	—
普通株式増加数(株)	158,833	80,709
(うち新株予約権(株))	(158,833)	(80,709)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	—	—

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。